



日本列島重力アトラス 西日本および中央日本

山本明彦・志知龍一 編，東京大学出版会 発行
B4判，136頁，CD-ROM付
2004年11月刊行，価格9,660円(税込)

西日本の重力の情報を満載した「日本列島重力アトラス 西日本および中央日本」が出版された。このアトラスは、関東甲信越以西の日本列島をカバーする重力データを編集したものである。はじめの6ページは、出版の経緯、意義、本やCD-ROMの構成、利用法などである。さらに重力・重力異常の基礎知識が簡潔にまとめられている。そして、それらの後に続いて、本書の中核である図版集が116ページにわたって収められている。図版集では、58枚の20万分の1地形図ごとに、重力のコンターを重ねた図と、段彩とコンターで重力を表した重力図が対になって、美しいカラーの画像で示されている。もちろん、本書はB4版の出版物なので、縮尺は30万分の1より少し小さいサイズとなっている。

本書の図版集はとても美しいもので、知識のある研究者はこれで十分な理解が得られるのであろうが、地質構造との対応を検討するには、不十分であろう。その点は編者も了解しているようで、本書にはCD-ROMが添付されている。このCD-ROMは“添付”されていることになっているが、実情は重力データはこのCD-ROMに濃縮され、かつ使いやすいように様々な工夫がなされている。まさに主役であり、図版集付CD-ROM出版物といった様相を呈しているのである。

そのCD-ROMは、MacintoshとWindowsの両方のコンピューターに対応している。このCD-ROMをクリックするとstart.htmファイルが出てくるので、これをクリックするとタイトルとともに日本語と英語を選択するボタンが表示される。これらのいずれかをクリックすると画像の位置を示したインデックスマップが出てくる。さきほどの図版集と同じ区分で、20万分の1地形図の区画を選択するようになっている。その区画をクリックするとその区画の重力図がたちまち表示されてくる。表示は、10種類あり、重力データの観測点分布、重力異常(0.5mgal等値



線)、重力異常(1mgal等値線)の段彩図、同陰影付段彩図、地形付き重力異常(1mgal等値線)、重力異常(1mgal等値線)の段彩図(地形陰影を重ねたもの)、地質+重力異常(1mgal等値線)、地質+重力異常(1mgal等値線)(地形陰影を重ねたもの)、重力異常水平勾配図、重力異常水平勾配図(地形陰影を重ねたもの)と非常にバラエティに富んでいる。それぞれの図版には説明がついており、拡大や断層を付加した表示等も可能になっている。簡便かつ分かりやすい、CD-ROMならではの表示機能を有している。

この重力アトラスは地質調査所(現：産業技術総合研究所地質調査総合センター)が収集公表した日本重力データベース(地質調査所、2000)と編者らが推進してきた西日本重力研究グループが独自に収集したデータを総合して作成されている。このように西日本の重力情報を均質にかつ利用しやすい形で提供した本書は、地質学研究者、地球物理学研究者ばかりではなく、地質に携わる実務者の多くに利用されるものと確信している。

産業技術総合研究所においても、日本重力CD-ROM 第二版(2004)等を通じて、日本の重力データ(グリッドデータを含む)の公表を継続している。今後も本書のような形で大学と連携して重力研究が推進されることを心から望んでいる。

(地質情報研究部門 脇田浩二)